

Doc.No : NR050322

2005年3月22日

広告送稿システムの構築サービスを開始

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野富次)は、各新聞社で運用されている広告管理システムと当社が提供するネットワークソリューションとを連動させる、地方版広告送稿システムの構築サービスを2005年4月から開始します。

印刷製版・広告・出版業界では、ユーザーニーズの多様化と短納期化に伴い、企画から印刷までの全工程において合理化が求められています。新聞業界でも、全国版扱いの広告では掲載情報や広告原稿のネット配信がシステム化され、広告会社と新聞社間での情報共有を実現しています。一方、地方版広告では現在も、CD-RやMOなどのメディアを使って郵送や宅配便などでデータが配送されることが多く、これらにかかる時間の短縮とコストの低減が課題となっています。

このような課題にいち早く対応するため当社では、1999年9月から培ってきた通信技術「GTRAX※1」と、2001年10月の「広告素材管理システム※2」のリリースを機に修得した広告制作のノウハウを融合し、本システムの開発を進めてきました。

本システムでは、GTRAXを利用することによってデータ配送をネットワーク化し、高いセキュリティを備えたデジタル送受信を実現。さらに、本システムを各新聞社の広告管理システムと連動させることで、データ配送時に広告会社が制作情報や掲載情報を指定することが可能です。これにより、入稿した広告原稿データの掲載情報や素材を間違えるといったミスを低減するとともに、オペレーターのデータ処理作業を軽減し、納期短縮とコスト削減を実現できます。

今後、各新聞社の仕様に応じてシステムを開発・構築し、年間5件の受注を目指します。

※1 GTRAX

大日本スクリーン、富士写真フイルム、NTTコミュニケーションズのコラボレーションから生まれた、印刷・出版・新聞業界を中心としたあらゆる業界に最適な情報流通プラットフォーム。

※2 広告素材管理システム

大日本スクリーンが、新聞製作における広告の分野に照準を合わせてリリースしたシステム。

<サービス開始予定>

2005年4月

<初期費用(消費税別)>

450万円から(仕様により異なります)

*その他、月額費用が掛かります。

<年間受注目標件数>

5件

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目